

# 神森、春王者の貫禄

## 全国中学総体

全国中学校体育大会は21日、各地で行われ、ハンドボール男子の神森は、決勝で西中原(神奈川)を39-29で破り、4年ぶり7度目の栄冠に輝いた。

軟式野球では東風平が準決勝で東海大静岡翔洋に0-2で敗れ3位。相撲の団体では、浦添が5位入賞した。

バレーボール男子の宮里は、決勝トーナメント2回戦で敗退した。

## ハンドボール

(函館アリーナ)

### ▽男子準決勝

神 森 24 (12-13) 23 粕 屋 (12-10) 23 (福岡)

### ▽同決勝

神 森 39 (21-13) 29 西 中 原 (18-16) 29 (神奈川)  
(神森は4年ぶり7度目の優勝)

## バレーボール

(CNAアリーナ★あきたほか)

### 宮里 2回戦で敗れる

▽男子決勝トーナメント2回戦  
小 布 施 2 (25-12) 0 宮 里 (長野) 2 (35-33)

## 剣道

(ウインドヒルくしろスーパーアリーナ)

### 島袋と小田 2回戦負け

▽男子個人1回戦  
酒 匂 健 康 メー 社 武 蔵 (大阪・鯉江)

# 縦横無尽の攻撃 大差快勝

## 重圧はねのけ7度目V

7度目の頂点に輝いた。ハンドボールの男子神森は決勝で西中原(神奈川)に39-29で勝利。3月の全国中学生選手権との2冠も達成し「ハンドボール王国」の力を見せつけた。

今大会は、初戦を延長戦の末、32-28で勝利。準々決勝も33-31と接戦で勝ち上がった。粘り強い

守備を發揮する一方で、攻撃はいま一つかみ合わなかった。「攻めるポイントがずれていた」(山内昌悟監督)場面も目立った。

準々決勝終了後、翌日の準決勝、決勝に向けてミーティングを行い、修正した。迎えた最終日の準決勝では、縦に強い攻撃を展開。高さがない分、相手の間を抜いて

得点した。

決勝でも攻撃がかみ合った。司令塔の新垣瑛太郎が左右にパスを散らし、サイドの外間優志らがゴール。さらに新里秀斗が中央から得点するなど、相手の動きを見て、多彩に内と外を使い分けた。

春の全国王者として臨んだ大会。周囲のプレッシャーもはねのけ日本一になった。新垣瑛太郎は「負けたら終わりの中学最後の大会。優勝できて最高の気持ち」と声を弾ませた。(比嘉大照)

## 積極プレス 固い守備

全国制覇を成し遂げた神森は、「超攻撃的なディフェンス」を掲げ、高い位置からプレスを仕掛けた。アグレッシブにボールを奪い、いく激しい守備は、本来は横一線の守備ラインが、3-2-1に見えるほど。強固な守りが優勝につながった。

ポストプレーヤーの新里秀斗は、守備では相手エースを止める役割を担う。最後まで足を動かし、山内昌悟監督も「ルーズボールを拾ってくれた」と評価する。

さらにキーパーの前城有里、島袋道は前に出て止める攻撃的なスタイルで、チームを救うセーブを連発。前城は「守りからチームを盛り上げた」とチームを支えた。新里は「やってきたことが出せて優勝できたのでうれしい」と喜んだ。

果敢にシュートを放つ岡田天雅(スポーツイベント提供)



司令塔としてチームけん引した主将の新垣瑛太郎(スポーツイベント提供)